

Ciao チャオ

トン・ボスコ海外青年ボランティアグループ 後援会だより

July 2024 no. 69



< 目 次 >

☆ 卷頭言	EAO 地域顧問ヨセフ・フォック神父	… 1
	武井アントニオ神父	… 2
☆ 海外派遣	参加メンバー紹介	… 3
☆ 活動報告	(2023 年度後期から)	… 7
☆ 2023 年度 決算報告		… 11
☆ 2023 年度 DBVG 寄付者・支援者		… 12
☆ 2024 年度活動予定		… 13

巻頭言

今年の 6 月上旬に来日した東アジア・オセアニア (EAO) 地域顧問のヨセフ・グエン・ティン・フォック神父が DBVG 宛に書いたメッセージを紹介します。(和訳: 武井明俊)



東アジア・オセアニア (EAO) 地域担当
ヨセフ・グエン・ティン・フォック神父 SDB

親愛なるドン・ボスコの友、そして親愛なる DBVG の皆さん
世界 132 カ国に存在するサレジオ会の総長アンヘル・フェルナンデス・アルティメ神父に代わり、DBVG を担当するサレジオ会員、また DBVG のメンバーである、あるいはこれからメンバーになろうとする若者の皆さんの協力に感謝します。

今日の世界は様々な形で多くの挑戦と困難に直面しています。

私たちが目にしているように、国や民族間の紛争は恐ろしい戦争につながっています。私たちは皆、すべての人との平和と繁栄を望んでいますが、この夢はまだ現実から遠く離れているようです。同時に、日本を含む世界各国において、若者は人生の目的のためにインスピレーションと光を探しています。自分の生きる意味は何か、何のために生きるのか、何のために勉強するのか、誰のために働くのか、何が私を幸せにするのか、何か目標を達成したときだけでなく、達成できなかつたときにも、私は幸せになれるのだろうか。また、人類の苦しみを減らすために、私は何に貢献できるのだろうか…

これらは人生における根本的な問いであり、理解力と道徳心のある人であれば、人生の中でこの問いに答えることを避けたり、先延ばしにしたりすることはできません。若者は慣れ親しんだ環境から離れると、急いでこれらの問いに対する答えを見つけようとする機会が増えます。このようにして人は知的に道徳的にそして靈的に成長するのです。

DBVG が若者にとってこのような人生についての根本的な問いを自覚させ、その答えを探求するための方法を見つけるための環境となることを祈ります。実際、ボランティアを通して、皆さんは自分自身を見つめ、自分の内側にある人格と真摯に向き合うことを促され、要求されるでしょう。同時に、他の人と同じ活動を共にすることで、将来、社会、学校、職場において、より困難な事に直面したときに、生涯あなたを支えるスキルを身につけることができます。あなたが奉仕したいと思う人々の必要性と向き合い、その課題解決の方法を探し、設定した目標を達成するためのプログラムを計画するために、心と頭を使ってください。また、ボランティアを終えたら、個人またはグループで分かち合うことで、自分が経験できなかった多くの側面を見つけることができるでしょう。最後に、皆さん一人ひとりが、教皇フランシスコの声に思いを馳せ、幸せになるにはどうしたらよいかを自分自身で考える機会を持つことができるよう祈っています

生命は与えられることによって成長し、孤立や快適な中では弱くなります。実際、人生を最も楽しむ人は、安全を岸辺に置き、生命を他者に伝える使命に興奮する人です（教皇フランシスコ『福音の喜び』）

「輝く」「聞く」「恐れない」

DBVG 担当司祭：武井アントニオ

サレジオ会の武井アントニオ神父です。私がDBVGの担当は今年で3年目になりました。いつもDBVGの活動にご理解とご支援をくださり、ありがとうございます。おかげさまで、DBVGのグループは皆さまの温かいご支援のもと、今年で33年目を迎えることができました。深く感謝申し上げます。

この度、私たちDBVGのために寄付をいただき、心より感謝いたします。ご寄付は、今回のベトナム派遣の活動において、恵まれない子どもたちのために大切に使わせていただきます。日本で支えてくださる方々の想いと共に、現地の人々と共に尽力し、様々な経験を積んで帰国したいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年8月上旬にポルトガルの首都リスボンで開催されたWYD「ワールドユースデー（世界青年大会）」に参加した際の体験を、皆さんと分かち合いたいと思います。最も印象深かったのは、8月6日の締めくくりのミサでした。教皇フランシスコと世界中から集まった700人の司教、1万人以上の司祭、そして約150万人の若者たちと共にミサに与ったことが特に心に残っております。そのミサで、教皇フランシスコが全世界の若者たちに向けて語った「輝く」「聞く」「恐れない」の3つのメッセージは、私にとって大きな力となりました。まず、「輝く」ことについて、教皇は「自分たちの国へ帰ったら、自分たちの家族、学校、共同体、職場、友人たちの間で証し人となってください。今日の私たちは多くの人生の闇に対して希望の光を必要としています」と教えてくださいました。次に、「聞く」ことについては、「キリスト者の人生でなすべきことは『イエスに耳を傾ける』ことです」と強調されました。そして最後に、「恐れない」ことについて、教皇は福音書の中でイエスが繰り返し「恐れてはならない」「恐れるな」と言わわれていることを指摘されました。「若者の皆さんも、自分の夢が実現しないのではないかと悲観に陥ったり、世界を変えることや正義と平和のために戦うことに限界を感じたりすることがあっても、イエスは現在と未来の若者たちに向けて『恐れることはない』と語りかけています」と、若者たちを力強く励ました。神様はいつも私たちのそばにおられます。神様が私たちのために生まれてくださったのは、私たちと共にいたい、共に歩みたいからです。どのような状況においても神様は共におられ、神様に信頼を持って生きることが大切だと確信しています。

今年の夏、8月25日から9月8日まで、8名の青年たちと共にベトナムへ行き、教皇フランシスコからいただいた「輝く」「聞く」「恐れない」の3つのメッセージを実現すべく活動を行う予定です。どうぞ、皆さま、引き続きDBVGのグループにご支援とご協力、そして何よりもお祈りを賜りますようお願い申し上げます。



2024年度 海外派遣メンバー

派遣先：ベトナム・南部メコンデルタ地方 カマウ省
(8月25日～9月8日)

有田 よし乃

皆さんこんにちは！上智大学3年生の有田よし乃です。大学では、主に国際教育開発学を専攻しており、教育分野における国際協力や発展途上国の教育改善について学んでいます。中高は日向学院を卒業し、その後もサレジオとの関わりの中で多くの人に支えられながら、貴重な経験をさせていただいています。

大学での学び、サレジオでの活動等、全てフィリピンのスラム街を訪れて国際協力に関心を持ったことが原動力になっています。DBVGの活動には今年の4月から参加しており、一つひとつの活動が私自身の成長と困難な状況下にある人々の助けに少しでも繋がればという想いで携わっています。また、ドン・ボスコの精神のもとに様々な人と共にいて、心に寄り添うとはどういうことかを考えながら活動しています。国際協力を考える中で、困難や迷いを抱えることは多くありますが、DBVGの活動が一つでも多くこれから私の糧となるよう、一人でも多くの人に寄り添うきっかけになるよう、頑張ります。どうぞよろしくお願いします。



加藤 黎



加藤黎です。今20歳で季節を追いかけるような生活をしています。私がDBVGの活動を知ったきっかけは2023年夏のワールドユースデーにて武井神父様とお話ししたことです。そのすぐ後も野尻湖にて私の母校の活動に参加してくださり、その際にDBVGについて改めて紹介していただき、ベトナムでの海外派遣に興味を持ちました。その後、自分はサレジオ会との繋がりからDBVGを含め沢山の出会いや機会に恵まれ、今豊かに生きているのだと感じ、私のこれから活動がまた少しでも他の人の豊かさに繋げられたら、これまで学んだことや、生きてきた意味、今まだ見つけられていない自分の召命について気づきがあるかもしれないと思い、今回ベトナムでのボランティアに参加しようと思いました。

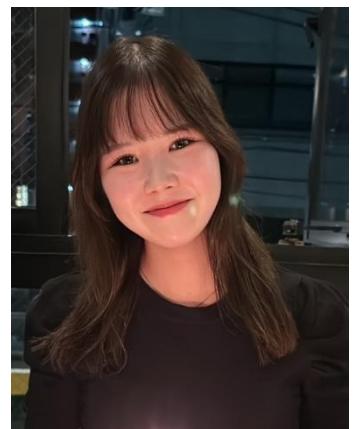
今まで本格的なボランティア活動をしたことはありませんが、ドン・ボスコの精神を忘れずに学んできたことや経験をベトナムの子供達のために活かせるように頑張ります。よろしくお願いします。

＊＊上山 桃華＊＊

こんにちは、大学3年の上山桃華と申します。DBVGへの参加は今年が初めてです。私は宮崎の日向学院出身で、当時の校長先生であった濱崎神父様からDBVGの活動を教えていただき、参加することを決めました。

私は中学生の時にフィリピン姉妹校交流プログラムへ参加しました。その際にトンドへ行き、都市部とスラム街の格差を目の当たりにしました。自分が恵まれた環境にいることを感じ、自分の時間や能力を使い、社会や地域のために貢献したいと考えました。

高校時代に乳児院や老人ホームでのボランティア経験はありました。海外でのボランティア経験は無かったため、今回ベトナムでのボランティアのお話を聞き、参加したいと思いました。活動を通して新しい文化や価値観を学び、私自身も成長できるよう、精一杯頑張ります。よろしくお願ひいたします。



＊＊乗峯 みづき＊＊



こんにちは。今回初めてDBVGに参加させていただきます、乗峯みづきです。現在福岡に住んでおり、大学3年生です。私は日向学院出身でその繋がりでDBVGの募集を見て、参加することに決めました。これまで日本国内でのボランティアには何度か参加したことがあります。海外でのボランティアは今回が初めてです。以前から海外でのボランティア活動に興味を持っていたので、今回のDBVGへの参加をとても嬉しく思います。言語が異なる地での活動は少し不安がありますが、現地の人と積極的に関わりたいと考えています。DBVGでの活動を通して、ベトナムに住んでいる人たちの生活が少しでも良くなるように自分にできることを精一杯頑張ります。今回のDBVGへの参加をきっかけに、今後さらにこのような活動に参加していくかと思います。

＊＊四倉 夏＊＊

今回のDBVGのベトナム派遣に参加させていただきます四倉夏です。

私は、もともと野尻湖の聖書学校を通じてサレジオを知り、昨年のワールドユースデーに参加したことでの、武井アントニオ神父様と再会することができました。DBVGに参加できるということになったのは突然でした。ある夜アントニオ神父様から電話がかかってきたのです。電話に出て早々に「ベトナムに行きませんか?」と言われたときは驚きましたが、サレジオの思い出はどれも濃く、楽しいものばかりなので、参加させていただくことにしました。さて、今回のDBVGベトナム派遣において、私は積極的に物事にかかわるということを頭に入れて行動したいです。というのもこれまでただついていって、楽しむという感じで、考えたり、率先して行動したほうがよりその時その時を楽しめると感じたからです。短くではありますが、私の紹介と今回の派遣に参加する経緯です。皆様のご支援に感謝して、ベトナム派遣を意義あるものにしていきたいです。



* * 島埜内日奈子 * *

初めまして。19歳・大学2年の島埜内日奈子です。宮崎県出身で現在は福岡の大学に通っています。趣味は、音楽を聴いたり韓国ドラマを見たりスポーツをすることです。

私は小学生の頃からボランティア活動に興味があり、昨年 DBVG を知って日向学院で一緒だった堤先生に話を聞いたりしており、今回初めて DBVG に参加させていただくことになりました。また、小学生の時初めてドン・ボスコの本を読みドン・ボスコの生き方に感銘を受けました。DBVG の基本理念である「ドン・ボスコの生き方に従って貧しい人々に奉仕する」ということを心に留めて活動していきたいと思います。

また、このベトナム派遣のボランティア活動を通して文化の違いを知り、自分の視野を広げたいと考えています。DBVG での活動で得たものは今後の自分に大きな影響を与えとても良い経験になると思います。そして、自分が何かを得るだけでなく、それ以上にたくさんの人々に何かを与えるようになりたいです。自分にできることを精一杯やって役に立てるよう頑張ります。よろしくお願ひいたします。



* * 関根 悠介 * *



こんにちは。今回の DBVG が初参加になります、大学1年の関根悠介です。

私は今までに海外経験がなく、違う国の文化や環境というものにもとても興味があり、この DBVG でそういった多くのことを体験し、自分のこれから的人生に活かしていきたいと考え、今回の参加を決めました。ベトナムは日本と気候が大きく異なり、そこで生きる生物や植物など、日本では見ることのできないものがたくさん見られるのではないかと期待しています。また、文化の違いから生まれる人々の生活様式の差や言語など、日本で生きているだけでは直に触れることのできない体験がそこにあることを確信しています。そういう違いを知ることは、多種多様な個人を理解し、受け入れ、共に生きることに繋がると考えています。そして、ボランティア活動という面でも、私にとって大きな経験を得ることができると考えています。誰が何を必要としていて、それに対して自分はどう答えられるのか、それを学ぶ機会になると思います。こういった貴重な体験を今回の DBVG で少しでも多く積み重ねることができればいいなと思います。また、今回この機会を設けて下さった武井神父様に感謝します。自分が参加することで、今回の DBVG がより良いものになったと思っていただけるように、精一杯の想いを持って参加します。そして同じように、現地の方々や参加するメンバーの皆さん、DBVG に関わる全ての方々に感謝を捧げながら、この活動に尽力していこうと思います。

＊＊池田 麦人＊＊



大学3年生の池田麦人です。私は、サレジオ会の司祭・修道士を目指す志願生として、調布サレジオ神学院で生活しています。普段は大学生として勉強し、神学院ではサレジオ会の司祭・修道士、神学生たちと共に生活しながら、召命の道を歩んでいます。

私がDBVGの海外派遣への参加を希望した理由は、この活動が青少年の救いにつながると感じたからです。昨年、私はDBVGの海外ボランティアに参加しました。そこで、就学年齢であるにも関わらず学校に行くことができない子どもたちを目の当たりにし、微力ながら彼らの役に立ちたいと思いました。また、日本におけるベトナム人の増加に伴い、日本にいるベトナム人青年に寄り添う人の必要性を感じました。

今回のベトナムでのボランティアでは、昨年のベトナムでの経験を活かし、ベトナムの青年たちと関わりながらベトナムの文化や習慣を学び、彼らのためにより多く奉仕したいと考えています。

＊＊堤 嶺作＊＊

今年もサポート役としてDBVGのメンバーになりました神学生の堤嶺作です。昨年はベトナム派遣をはじめ、国内外のボランティア活動に青年たちと参加しました。ボランティア活動もベトナムに行くことも初めてではなかったのですが、たくさんの新鮮な体験をしました。その体験の中で現地の人たちから、また一緒に参加した青年たちから色々なことを学ばせてもらいました。今年はどんな素晴らしい出会いや体験が待っているか楽しみです。たくさんの活動を通して青年たちの活動に同伴し、学び、成長できればと思います。よろしくお願いします。



<活動報告>

この1年間の国内ボランティアの活動報告です。写真と共にご覧ください！

【2023年11月活動：川口教会でホームレス支援のお手伝い】



11月18日、私たちDBVGは国内ボランティアとして川口教会を訪れ、ベトナム人の青年（留学生）たちが主導するホームレス支援の配食活動に参加しました。まずはベトナム人青年たちと挨拶を交わし、配食用のお弁当と一緒に準備しました。多くの品数の和風料理を調理し、ホームレスの方々に喜んでもらうべく心を込めて準備しました。また、寒さ対策としてホットカイロなども用意しました。

その後、川口教会近くの荒川の河川敷へ移動し、配食を行いました。また、時間が許す限りお話をしました。高架下で響く電車の音、通り抜ける冷たい風の中でホームレスの方々は生活していました。彼らに配食をする中で、感謝の言葉をかける人もいれば、私たちの姿を見て身を隠す人もいました。それでも、配食を無事に終えることができました。最後に川口教会に戻り、分かち合いにより自身の考えを共有し国内ボランティアを終えました。

今回のボランティア活動を通して、ただ手助けをするだけでなく、相手とのつながりを大切にすることの重要性を感じました。ベトナム人青年たちと共に活動する中で、ただ物質的な支援だけでなく、人との繋がりがいかに大切かを改めて認識しました。これからも異なる背景や状況にいる人々との交流を通じて、より多くのことを学んでいきたいと思います。また彼らのような人の関わりが、自己の成長と共に深まっていくことを期待しています。



【2023年12月活動：「ciao」の製本とクリスマス会】

12月の定例会は、DBVGの刊行誌「ciao」の製本とクリスマス会を実施しました。

クリスマス会には15人ほどが集まりました。はじめに、み言葉の祭儀があり、DVBGの今後の活動の上に神様からの祝福を祈りました。その後、クリスマスパーティを行いました。パーティでは皆で机を囲んで鍋料理をいただきました。今回のクリスマス会では一年の活動、特にこの夏にベトナムへ海外派遣されたメンバーの振り返りを行いました。そして食後にはプレゼント交換会がありました。一人一人個性あふれるプレゼントでした。また、今回が初めてとなる参加者もいて、DBVGの活動内容や海外派遣についての発表を行いました。初参加の方とも良い交流のひと時を過ごすことができ、和気あいあいとした雰囲気の中でクリスマス会を終えることができました。

今年1年はコロナ禍が明け、DBVGとして久しぶりに活動が再開した年でした。今回からメンバーが入れ替わり、海外派遣先もベトナムという新たな取り組みでした。これからもマリア様のご保護のもと、より良い一年を過ごすことができるよう祈っています。



【2024年2月活動：修道院の清掃活動】

2月17日、私たちは国内ボランティアとして、調布市にある汚れなきマリア修道会の修道院にボランティアに行きました。今回は新しいメンバーを2人迎えた15人という大人数でのボランティアになりました。修道院に到着後、シスターに迎えられ修道院の説明と作業場所について説明がありました。今回私たちが作業をする場所は、マリアンハウスという学生のために作られた寮で、もう何年も使われておらず、人手が足りていないため掃除ができていない場所でした。私たちは、その施設の1階から3階まで約30部屋と各階のトイレなどの清掃作業を行いました。内容は主に床の掃き掃除や窓ふきなどです。埃やごみなどはもちろん、部屋の中に蜂の巣などがありました。いろいろ大変な作業もありましたが、何年も使われておらずシスターたちの手が届かない場所なんだなと思い、とてもやりがいを感じました。



作業後は、シスター方とともにミサにあずかりその後に分かち合いを行いました。分かち合いの中で、ブラジル留学生の新メンバーがこう発言しました。「わたしは、日本に来て信仰が薄れてしまうのではないかというのが心配で怖かった。でも違った、この活動に参加してみんなと共に過ごしているうちに、むしろ信仰が深まった気がする。ありがとう。」この言葉を聞いて、私たちのやっていることが認められた気がしてとてもうれしかったです。シスター方からも分かち合いをしていただき、また来てくださいと、ありがたいお言葉をいただきました。最後に、今回のボランティアで私達がしたこと以上にシスター方からしていただいたことのほうが多いように感じました。15人という大人数でのボランティアの参加でしたが私たちを温かく歓迎していただき、おいしい昼食やおやつも提供していただきました。こんなに恵まれた環境でボランティアを行えたことに私たちは感謝しかありません。そして、新しいメンバーとも出会い、一緒に作業や分かち合いをしてさらにメンバーとの絆が深まったことを感じました。



【2024年4月活動：川口教会でホームレス支援のお手伝い（2回目）】

4月20日、DBVGのメンバーは川口教会の炊き出しボランティアに参加しました。DBVGとして川口教会でのボランティアは今回が2回目でしたが、多くの新メンバーを迎えて、14名での参加となりました。ボランティアの内容としてはホームレスの方々にお弁当を作つて持つていくというもので、川口教会ではいつもベトナム人の共同体がこの活動をしているようです。

現地に到着すると、このボランティアを普段から担当しておられるヒューさんが私たちを迎えてくださいました。ヒューさんからは川口教会のボランティアのことや、この日の私たちの昼食とホームレスの方々のためのお弁当の献立などの説明を受け、私たちはそれぞれの役割に分かれて活動が始まりました。メンバーは昼食とお弁当作りのための買い出しに行きました。買い出しからメンバーが帰ると、すぐに昼食作りが始まりました。私たちに戦う意思はありませんが、「腹が減っては…」という言葉もあるほどです。時間も12時を超えていましたし、ボランティアをするためのエネルギーをしっかりつける目的もあったのでしょうか。昼食にはヒューさんの指導のもとメンバーで作ったベトナムの家庭料理をいただきました。おいしい食事にみなさんとても満足したようでした。昼食を食べ終え、ようやくお弁当作りの始まりです。作るおかずごとにメンバーを分け、私はりんごの皮むきをすることになりました。おかず作りの中でも特に盛り上がりを見せたのは卵焼き作りでした。自分こそがおいしい卵焼きを作るのだと何人ものメンバーが交代で卵焼き作りに挑戦し、個性という隠し味の卵焼きが完成しました。お弁当作りも終わり、いよいよこれを届けることになりました。私たちはホームレスの方が生活している河川敷に行き、お弁当を手渡しました。見知らぬメンバーを見たホームレスの方々は少し驚いたようでしたが、私たちがボランティアとして集まったメンバーと知り、その後明るく私たちに話しかけてくださいました。

お弁当を渡して教会に戻ってきたメンバーは、各々がボランティアに参加して感じたことや気付いたことについての分かち合いを行いました。分かち合いの中で何人かのメンバーは「私は今までホームレスの方々に偏見を持っていました」と打ち明けてくれました。私自身もホームレスと聞くとどうしてもよくないイメージを持ちがちでしたが、このボランティアを通して彼らには彼らの意見や考え方があり、それぞれが明るく生きようとしている姿を見ることができました。



収入		支出		
寄付金 バザー売上 受取利息 活動参加費	643,500 998,747 25 700,000	ドン・ボスコ饅頭含む 参加者負担分	活動費 バザー仕入 通信費 手数料 事務費 援助金	2,112,051 720,800 86,104 16,980 35,953 800,000
収入計	2,342,272		支出計	3,771,888
前年度繰越金	9,230,092		次年度繰越金	7,800,476
収入総計	11,572,364		支出総計	11,572,364

支出活動費内訳

航空券	1,083,970	(11名分)
保険	168,400	
現地活動費	730,000	
壮行会費用	59,556	
その他(Tシャツ・帽子など)	70,125	
計	2,112,051	

バザー収支(DB饅頭含む)内訳

バザー仕入a	0	
DB饅頭仕入 a'	720,800	
仕入計	720,800	A
バザー売り上げb	146,201	
DB饅頭売上 b'	852,546	
売上計	998,747	B
純益(B-A)	277,947	

事務局長 武井アントニオ
会計担当 竹下尚克

監査の結果、上記のとおり確認しました。

会計監査

佐藤 卓也

印鑑

会計監査

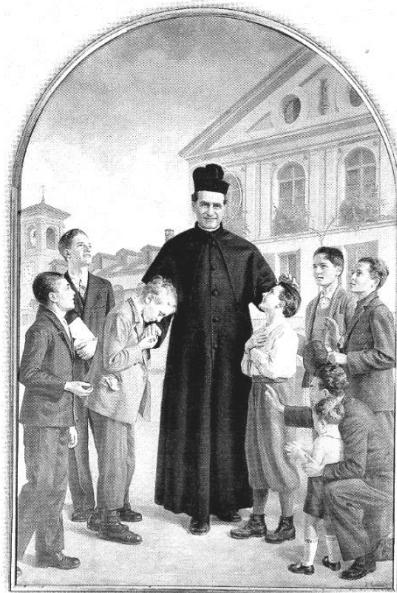
戸野 隆夫

印鑑

2024年 7月16日

2023 年度 DBVG 寄付者・支援者 (順不同 敬称略)

マンマ・マルゲリータ修道院 大川肇 奥田恵子 中井俊夫・まゆ 中村妙子 ウニオーネ
山本秀子 安藤 夕カトシ・ユキエ 馬場綏子 三輪修一・千鶴子 田中秀尚・直美
小林眞樹子 来海康世 コオペラトーリ長崎支部 富岡文代 辻家栄一郎 吉田紀子
松田嘉代子 植田良子 コオペラトーリ別府支部 上村義幸 藤原礼子 西川望 岡淳子
神山和美 聖マリア・マザレロ修道院 竹中由起夫 瀬戸和彦・まゆみ 猿川禮子
サレジアンシスターズ大分修道院 飯沼武 藤永悦子 竹内昭男 馬場綏子 岡秋美
中井一久雄 大浦るみ子 サレジアンシスターズ玉造修道院 長坂香代子 七澤順一
御血礼拝修道会 薬真寺真理枝 山城京子 毛原曰出世 武井文明 サレジオ中学校
サレジアニ・コオペラトーリ サレジオ同窓会連合 サレジオ学院保護者会 木曜の会
亀山美世子 滝口美雪 林崎恵子 三浦みどり 榎並瑛子 平出正子 位田曜子 翠元子
荒木明美 位田曜子 小川真弓 横河千里 浅田美知子 高橋幸子 難波洋子 小池俊子
鳥飼眞喜子 及川幸子 中村典子 松村藍子 福井博夫・安基子 宇南山伸
宮島智美 勝村恵梨子 田隅富美子 菅原ちはや 中村静枝 行廣みち子 石川百合恵
サレジオ学院 足立サレジオ幼稚園 サレジオ会日本管区 目黒サレジオ幼稚園
町田サレジオ幼稚園 小百合の寮 大阪星光学院 中津サレジオ修道院 聖ヨセフ寮
カトリック調布教会 碑文谷教会曰曜学校 東京サレジオ学園 ドン・ボスコ社



後援会のみなさまへ

いつも尊いご寄付をお寄せいただきまして、ありがとうございます。

今年も、国内外の若者たちのために、そのあらゆる機会のために皆様のご支援をお願い申し上げます。振込用紙を同封いたしました。今回もどうぞご協力ください。

既にお振込み下さった方は、次回のためにお使いいただけましたら幸いです。

«2024年度 DBVG 活動記録・予定»

4月 20日 (土) 国内ボランティア：川口教会でホームレス支援のお手伝い

5月 18日 (土) 定例会 : 海外派遣の準備①

6月 15日 (土) 定例会 : 海外派遣の準備②

7月 20日 (土) 定例会 : 海外派遣の準備③・壮行会 (BBQ)

8月 17日 (土) 定例会 : 海外派遣の準備④

8月 23日 (金) - 24日 (土) : 派遣直前合宿 (調布サレジオ神学院)

8月 25日 (日) - 9月 8日 (日) : 海外派遣 ベトナム・南部メコンデルタ地方 カマウ省

10月 4日 (金) 報告会前合宿

10月 5日 (土) サレジオ会福音宣教の日 DBVG 報告会 (カトリック調布教会)

10月 26日 (土) - 27日 (日) サレジオ高専バザー

10月 27日 (日) 調布教会バザー

11月 23日 (土) 定例会

12月 21日 (土) クリスマスの集い



2025年

1月 18日 (土) 定例会 : 新年会

2月 15日 (土) 定例会

3月 15日 (土) 定例会

« 編集後記 »

今年の夏は8名の青年が昨年と同じベトナム・カマウに派遣されることになりました。

8月 25日(日)成田出発、9月 8日(日)帰国です。

今年の活動も2週間の派遣となります。様々な体験を通してそれが成長して帰国してくれることでしょう。

主のお恵みと参加者の安全を共にお祈りくださいますようお願いいたします。



Ciao チャオ

〒 160-0011 東京都新宿区若葉 1-22-12

サレジオ管区長館内

TEL : 03-3353-8355 Fax : 03-3353-7190

Mail : sdbdbvg@gmail.com

ホームページ

<http://www.oratorio.tokyo/dbvg> (新)

<http://www.donboscojp.org/sdbdbvg>

facebook

<https://www.facebook.com/DBVGJapan>

振替口座番号 00150-1-553622

ドン・ボスコ海外青年ボランティアグループ